

学習課題（小学校 5 年生）



【国語】

<学習内容>

◆「漢字の広場」（教科書 136 ページ）を学習します。

各教科での学習や学校生活について、挿絵をもとに考え、学級日誌に記録するように、文章をノートや取組シートに書きましょう。

※136 ページに載っている言葉を、全部使いましょう。一つの文に、二つ以上使って書くこともできます。

<例>給食では、栄養たっぷりの焼き魚を食べた。

◆「固有種が教えてくれること」（教科書 137～147 ページ）を学習します。

- (1) 138～145 ページを通して読み、段落に分けます。
- (2) 文章をもう一度読み、「初め」「中」「終わり」のまとまりに分けます。
※まとまりの確認は、146 ページを見て行いましょう。
- (3) 「初め」と「終わり」で書かれている筆者の考えの中心はどのようなことかノートや取組シートにまとめましょう。
※「初め」と「終わり」それぞれを読み、筆者の考えが書いてある文を見付け、内容の重なりを探してみましょう。

- (4) 「中」ではどんな事がらが書かれているか。それぞれの段落に簡単な見出しを考え、書かれていることをまとめましょう。教科書 146 ページ下段や、右の表を参考にして、表をつくり、ノートや取組シートにまとめましょう。

- (5) 筆者は資料 1～7 の図表やグラフ、写真を使って、考えが伝わるように書き表し方を工夫しています。筆者はなぜこのような論の進め方をしたのか、3 枚目のワークシートやノート、取組シートに書きましょう。

※筆者・読み手のどちらの立場から考えるか決めて考えてみましょう。

五	四	三	段落
		多い固有種が日本には	見出し
		固有の数の多い日本とイギリスで、陸地にすむほ乳類を比べると日本の方が種の数もそのうちの	書かれていること

<筆者の立場から考える>

- ・筆者は、資料○を示すことで、——を伝えたいのではないか。

<読み手の立場から考える>

- ・文章と図表を合わせると、——ということがいえるのではないか。

＜筆者の立場から考えた例＞

- ・筆者は、資料 6 と 7 を示すことで、第 10 段落の固有種の保護と生息環境のバランスの重要性を伝えたいのではないかな。

- (6) 筆者が考える「固有種が教えてくれること」とはどんなことなのかに注意して、文章の要旨（文章の主要な内容を短くまとめる）を 150 字程度で、3 枚目のワークシートやノート、取組シートに書きましょう。

＜要旨について＞

これまでに「見立てる」や「言葉の意味が分かること」で学習しています。教科書 296 ページにも「要旨」について説明がのっています。(3)で学習した文章全体をまとめている段落に注目し、150 字程度でまとめてみましょう。

- (7) 筆者の考えや論の進め方について、図表などを用いることの効果にもふれながら、ノートや取組シートに自分の考えを書きましょう。

＜共感・なっとくしたこと＞

そのとおりだ。そうかもしれない
と思ったことは…

＜疑問に思ったこと＞

そうなのかなと思ったことは…

＜図表の効果＞

資料 3 と資料 4 から〇〇なことが
分かり、説得力が…



- ◆新出漢字「境」～「均」をノートや取組シートに練習します。
（読み方や筆順などは、教科書 290 ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「固有種が教えてくれること」では、資料を用いたり、文章と対応させたりすることで、P147「たいせつ」を子どもが学べるように、声をかけてあげてください。

年 組 名前 ()

(5) 筆者は、資料を使って、考えが伝わるように書き表し方を工夫しています。筆者は、なぜこのような論の進め方をしたのでしょうか。

※筆者・読み手のどちらかの立場から考えることができます。

の立場から考える

ではないか。

(6) 筆者が考える「固有種が教えてくれること」とはどんなことなのかに注意して、この文章の要旨を百五十字程度で書きましよう。

150 字